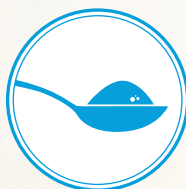




株主の皆様へ

第124期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



SHOWA
PAXXS

昭和パックス株式会社



Top Message

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は第124期（2019年4月1日～2020年3月31日）の前半を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大西 亮**

当社は創立以来、産業用包装容器メーカーとして事業の拡大に務め、業界・地域の発展に貢献してまいりました。「常にお客様への感謝の心を持ち、品質保証と物流の革新を通して、社員の成長を求め、社会に貢献する」という企業理念のもと、社員が一致団結し、独立企業としての研鑽を重ねることで、顧客の信頼を獲得するとともに、社業および社員の生活発展を通して、社会貢献を目指していきます。

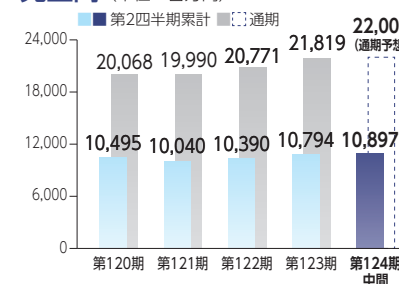
Since 1935 創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

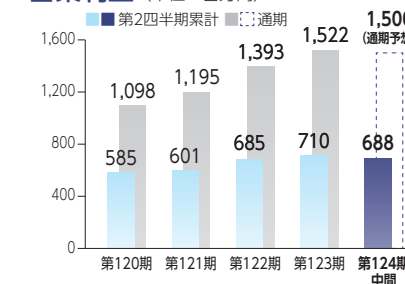
//// 今期の業績

当社グループの今上半期の業績は、売上高10,897百万円（1.0％増加）、営業利益688百万円（3.1％減少）、経常利益758百万円（2.6％減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益533百万円（1.6％減少）となりました。

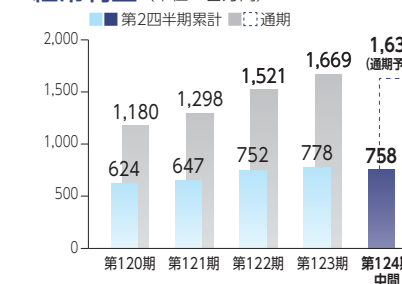
売上高（単位：百万円）



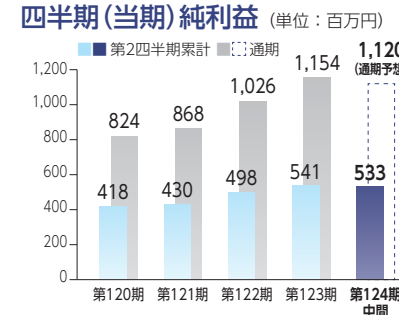
営業利益（単位：百万円）



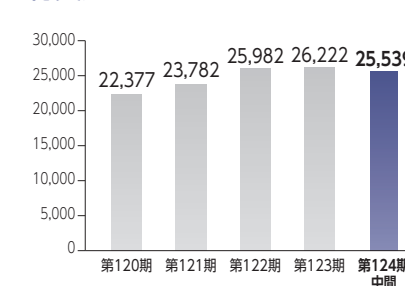
経常利益（単位：百万円）



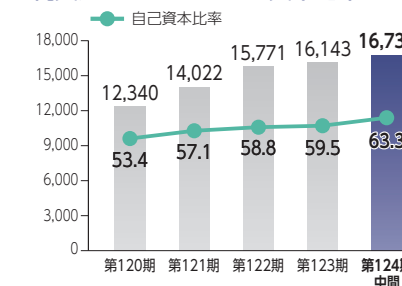
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



総資産（単位：百万円）



純資産（単位：百万円）／自己資本比率（単位：％）



//// 今期の見通し

今後の景気動向には見通しにくいところがあり、その変動次第で当社グループの損益も大きく変わるリスクがありますが、当連結会計年度通期の業績見通しについては、当初の予想（2019年5月13日発表）を変更せず、連結売上高22,000百万円、連結営業利益1,500百万円、連結経常利益1,630百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円を見込みます。

< 今期の見通し >

売上高	22,000百万円 (伸長率0.8%)
営業利益	1,500百万円 (伸長率△1.5%)
経常利益	1,630百万円 (伸長率△2.3%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,120百万円 (伸長率△3.0%)

セグメント情報

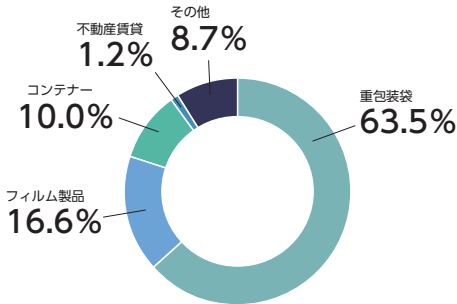
当社は1935年の設立以来84年の歴史を持つ、産業用包装容器メーカーです。
企業間取引が中心ですが、優良な得意先企業群は、昭和パックスに対する信頼の表れです。「顧客に支持され、社員に愛され、社会に貢献する会社であり続けること」を基本方針として、これからも前進を続けてまいります。
各セグメントの事業内容、今上半期の概況は次の通りです。

	主力製品	事業説明
重包装袋		プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品等多様な物品を包装する紙袋、主として化学肥料を包装するポリエチレン袋を製造・販売しています。 内容物の特性やお客様の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付与しています。
フィルム製品	 (産業用) (農業用)	大型包装資材として利用される熱収縮フィルム「エスタイト」、防霧効果、光線透過性、流滴持続性、耐候性など、様々な特性を付与したパイプハウス展張用農POフィルム「キリヨケバーナル」。極めて優れた伸縮性と密着性、刺突耐性を備え、牧草などの畜産用飼料を安定して発酵させるサイレージ用ロールベールフィルム「エスラップ・グリーン」。いずれも当社設備の特長を活かし、よりお客様が使いやすく、高くご評価いただける製品となるよう研究を重ねて商品化したものです。当社の主力製品として長期にわたりご愛顧いただいています。
コンテナ	 ■ エスキューブ	一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg～1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタंक」を製造・販売しています。

売上高

10,897
百万円

重包装袋	6,920百万円
フィルム製品	1,808百万円
コンテナ	1,089百万円
不動産賃貸	129百万円
その他	949百万円



事業概況
当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比△3.6%で、業界の減少幅を上回りました。米麦袋は業界の幅ほどには減りませんでしたが、砂糖・甘味、合成樹脂、化学品用途が減少し、業界内シェアを下げる結果となりました。グループ各社については、九州紙工(株)は前年同期比微減、山陰製袋工業(株)は微増でしたが、タイ昭和パックス(株)は、中国経済減速の影響を被った顧客の生産量が落ち込んだため、△10.8%の大幅減少となりました。 昨夏値上がりした重包装袋の原紙価格に大きな変動はありませんでした。
当社のフィルム製品の売上数量は、産業用、農業用ともに増加し、合計で前年同期比+4.9%でした。産業用で広幅ポリエチレンフィルム、ポリスチレンフィルム「エスクレア」、農業用でハウス用農サクビフィルムなどが増加しました。 主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は、1～3月期に昨夏の上昇分を値戻しし、その後にポリスチレン樹脂は若干値上がりました。
当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比で減少し△3.6%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタंक」は、いずれも前年同期から数量を減らしました。

製品紹介

エスクレア

エスクレアとは、ポリスチレン樹脂製のフィルム製品です。

エスクレアのロールは、様々な模様や文字が印刷された後、惣菜・お刺身等の販売用トレーやカップ麺の丼などの発泡容器に貼り合わされて、見た目の美しい、装飾性の高い容器を作り上げます。

◆製品の特徴

① 印刷適性がよい

厚みムラが少なく、精度の高いフィルムであるため印刷時の色抜け等が発生いたしません。また、フィルムの印刷面にコロナ放電処理を施すことで表面が改質され、印刷インクの乗りを良好に保ちます。

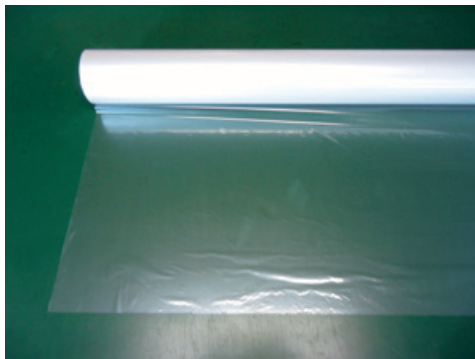
② 高い透明性

高い透明性と光沢を併せ持つため、発色が良く、見た目の美しい容器の製造に適しています。

③ タテ・ヨコのバランスがよい

フィルムのタテ方向、ヨコ方向どちらにも偏りのない物性を有しています。適度な強度と伸びを持ち、加工工程におけるシワや裂けのトラブルがなく、取り扱いにも優れたフィルムとなっています。

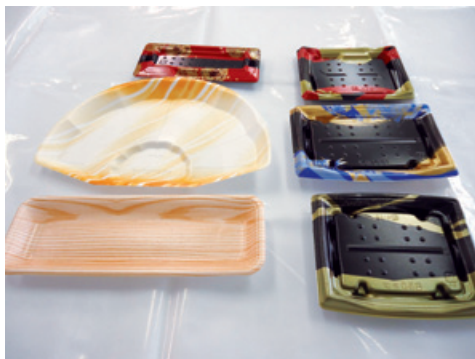
惣菜・お刺身等の販売用トレーやカップ麺の丼の印刷面としてだけでなく、お豆腐容器の蓋材に用いられるほか、近年、コンビニ等で販売されている、直接電子レンジにかけられる食品容器の貼り合わせ基材などの用途でも需要が伸びています。このように消費者の皆様の身近で、生活に彩りを添える役目を果たしています。



エスクレア



表面に印刷を施す



トレーに貼り付ける

トピックス

SVパックの改良品が特許登録

これまでも「進化する両底貼り袋」として紹介してきましたが、このほど改良品SV-2の特許が登録されました。

特許登録 2019年9月6日 特許第6581818号「紙袋」

従来のSVパックは力紙(補強紙)に接着剤を塗布したバルブ口側より、内容物を充填後、溶着により封緘する仕様でしたが、当該仕様ではバルブ口側角部からの粉漏れを確実に抑制できていませんでした。

今回特許登録となったSV-2はSVパックのバルブ機能を持たせた内力紙の内側に接着剤を塗布することでバルブ口が隙間なく溶着され、バルブ口側からの粉漏れを防止した両底貼り袋です。

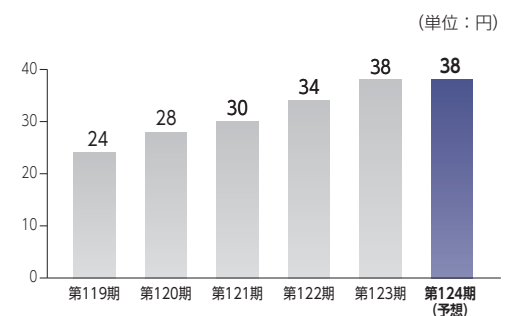
株主還元

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくため株主還元を以下の通り整えております。

<配当>

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識しており、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当についても安定的に継続して実施することを基本としております。

第124期の中間配当金につきましては、この基本方針に基づき、1株につき19円とすることを決定いたしました。



注：2016年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株とする株式併合を実施しております。第121期以前の年間配当金額は株式併合後に換算した金額を記載しております。

<株主優待>

3月末に500株以上所有の株主様に対し、**新潟県産コシヒカリ新米5kg**を、当社特製紙袋で包装して、贈呈しています。

新潟県産
コシヒカリ
新米5kg

会社概要 (2019年9月30日現在)

- 設立
1935年12月20日
- 資本金
6億4,050万円
- 主要な事業内容
クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および
各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売
- 主要な事業所
本 社 〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町2番12号
電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)
工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、
盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、
山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、
昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

当社の株式の状況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 13,450,000株
- 発行済株式の総数 4,450,000株
- 株主数 1,023名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
昭和パックス社員持株会	78	1.8
農林中央金庫	75	1.7
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
岡本圭介	50	1.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50	1.1
王子ホールディングス株式会社	50	1.1
丸紅株式会社	50	1.1
みずほ信託銀行株式会社	50	1.1
明治安田生命保険相互会社	50	1.1
中越パルプ工業株式会社	50	1.1

(注) 持株比率は自己株式(9,961株)を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 期末配当金支払 3月31日
- 株主確定日
- 中間配当金支払 9月30日
- 株主確定日
- 基準日 定時株主総会については、3月31日。その他
定款に定めがある場合のほか、必要があるときは
あらかじめ公告する一定の日。
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部
- お取扱窓口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、
特別口座管理機関のお取扱店。
- 特別口座管理機関 みずほ信託銀行
- お取扱店 フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載。
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、日本
経済新聞に掲載。

役員 (取締役および監査役) (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	大 西 亮	
常 務 取 締 役	飯 崎 充	管理本部長
取 締 役	森 文 男	生産本部長
取 締 役	野 崎 和 宏	営業本部長
取 締 役	小野寺香一	フィルム事業企画部長
取 締 役	渡 淳 二	サッポロホールディングス(株)顧問
常 勤 監 査 役	佐 藤 隆	
監 査 役	宮 本 貞 彦	新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役
監 査 役	櫻 田 武 志	(株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※宮本貞彦氏および櫻田武志氏は、会社法第2条第16号に定める社外
監査役であります。

